

## 令和6年度 社会福祉法人三恵会事業報告書

### 1. 事業概要

特別養護老人ホームを中核とし、ショートステイ、デイサービス、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所、養護老人ホーム等の社会福祉事業を行い、お年寄りの介護を通して、地域の方々の生活を支援しています。

### 2. 監査

令和6年6月5日（水） ひかわ会議室  
三恵会監事による令和5年度収支決算の監査

### 3. 理事会

第1回 令和6年6月10日（月） ひかわ会議室

1. 令和5年度 事業報告
2. 令和5年度 決算報告
3. 監事による監査報告
4. ひかわ大規模修繕計画
5. 次回評議員会の議題

第2回 令和6年11月4日（月） ひかわ会議室

1. 令和6年度 上半期事業報告
2. 令和6年度 一次補正予算案
3. 三恵苑エレベーターリニューアル工事
4. 次回評議員会の議題

第3回 令和7年3月3日（月） ひかわ会議室

1. 令和6年度 下半期事業報告
2. 令和6年度 二次補正予算案
3. 令和7年度 事業計画
4. 令和7年度 当初予算案
5. 令和7年度 就業規則、給与規定変更
6. 令和7年度 役員賠償責任保険契約内容
7. 令和7年度 本部への資金移動の承認
8. 監査指導報告
9. 新理事、新監事、新評議員候補者の選定
10. 評議員専任解任委員会の招集
11. 養護老人ホーム富士見園特定施設生活介護事業所の休止（廃止）
12. 次回評議員会議題

4. 評議員会 第1回 令和6年6月23日(日) ひかわ会議室

1. 令和5年度 事業報告
2. 令和5年度 決算報告
3. 監事による監査報告
4. ひかわ大規模修繕計画

第2回 令和6年11月17日(日) ひかわ会議室

1. 令和6年度 上半期事業報告
2. 令和6年度 一次補正予算案
3. 三恵苑エレベーターリニューアル工事

第3回 令和7年3月23日(日) ひかわ会議室

1. 令和6年度 下半期事業報告
2. 令和6年度 二次補正予算案
3. 令和7年度 事業計画
4. 令和7年度 当初予算案
5. 令和7年度 就業規則、給与規定変更
6. 令和7年度 役員賠償責任保険契約内容
7. 令和7年度 本部への資金移動の承認
8. 監査指導報告
9. 養護老人ホーム富士見園特定施設生活介護事業所の休止(廃止)

5. 目標に対する自己評価 <三恵会>

法人 目標①	高齢で普通の生活が出来なくなった人達に対して「あたりまえの生活が出来るように支援していく」と云う法人理念に則り、お年寄りとそのご家族を支援していく。
評価	法人理念が職員に浸透しており、入居者とその家族ともコミュニケーションが取れている。今後も引き続き法人理念に則り運営していく。

法人 目標②	特別養護老人ホームひかわと特別養護老人ホーム三恵苑の大規模修繕計画を進める。
評価	特別養護老人ホームひかわは令和7年4月にさいたま市より補助金の承認をいただいた。令和7年度の実施に向けて調整を進めていく。 特別養護老人ホーム三恵苑については計画と概算の作成が完了した。さいたま市への計画書の申請は令和7年7月予定としている。

## 特別養護老人ホーム三恵苑事業報告

### 1. 事業概要

人生の最後を悔いなく、楽しく送って頂けるように。そして『あたり前な生活が出来るように』特養入居者 76 名と短期利用者 4 名のお年寄りの生活を支援しています。

### 2. 月間利用者延人数 (特養・短期合計)

令和 5年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	2,077	2,108	2,148	2,289	2,229	2,183	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	26,652
	2,278	2,249	2,322	2,289	2,145	2,335	
令和 6年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	2,274	2,375	2,308	2,280	2,330	2,176	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	27,752
	2,313	2,351	2,446	2,370	2,150	2,379	

### 3. 入居者の年齢構成

R7.3.31 時点

	60代以下	70代	80代	90代	100歳以上	平均	最高齢
男	2名	4名	13名	1名	0名	80.9歳	91歳
女	2名	11名	26名	15名	2名	85.3歳	101歳
計	4名	15名	39名	16名	2名	84.1歳	

### 4. 入居者の介護度別人数

R7.3.31 時点

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
令和5年	2名	3名	29名	23名	17名	3.68
令和6年	3名	6名	29名	21名	17名	3.57

### 5. 介護度別入退所者状況 (入所時点の介護度)

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和 5年	入所	0名	1名	12名	10名	11名	34名
	退所	1名	0名	4名	11名	12名	28名
令和 6年	入所	0名	2名	9名	8名	6名	25名
	退所	0名	0名	10名	9名	4名	23名
令和6年度 看取り 4名 (前年度 14名)					退所者平均年齢 88.3歳		

6. 職員の状況 (特養・短期合計)

R7.3.31 時点

職名	人数		兼務の状況	資格
	常勤	非常勤		
施設長	1			社会福祉主事
事務員	1	2		
事務員	1		○	包括支援センター兼務
相談員	1		○	介護支援専門員、介護福祉士
ケアマネ	1		○	介護支援専門員、社会福祉士
主任	1			介護福祉士
リーダー	2			介護福祉士
介護職	17	5		介護福祉士
介護職		2		介護職員実務者研修
介護職		1		介護職員初任者研修
介護職	1			認知症介護基礎研修
看護師	1	2		看護師
看護師	1	1		准看護師
栄養士	1			管理栄養士
介助員		2		
洗濯		2		
宿直員		3		
合計	29	20		【介護＋看護職員：入居者】 2.24：1

7. 目標に対する自己評価

特養 目標①	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者一人ひとりの気持ちに寄り添い、相手に対する思いやりの気持ちを持って接することを心がける。</li> <li>2. 職員の業務軽減や入居者の生活をより充実させることを目的とし、積極的にICTを取り入れ活用していく。</li> <li>3. 大規模修繕工事計画を策定する。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者や職員間で“思いやり”を持った行動ができていた。今後も入居者に対する言葉遣いを丁寧に接していくことを心がけることができた。</li> <li>2. 既に導入している介護ソフトや情報共有ソフトはしっかりと活用されていた。今後は更に業務改善が見込まれる機器の追加や機能の多様な使い方を目指し進めていく。</li> <li>3. 全体計画と予算はほぼ策定できた。令和7年7月を目処にさいたま市へ計画書の申請を行う。</li> </ol>
介護【1階】 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日常生活の小さな変化を見落とさず、入居者が安心・安全に生活でき、日々満足して暮らせていけるサービスを提供する。</li> <li>2. 入居者に喜ばれるケアを心掛け、いつも笑顔で生活してもらえよう努めていく。</li> </ol>

評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者が生活していく上での環境を整え、日々職員間で情報を共有しながら対応していく事ができた。しかし気付きが足りない所も随所に見受けられた為、変化を見落とさないようより一層日々の観察が必要である。</li> <li>2. いかに入居者に喜んでもらえるかを考え、普段の声掛け、コミュニケーションの取り方、行事の指向を変える等工夫をしながら常に笑顔を意識した対応はできた。</li> </ol>
介護【2階】 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入所者個々に合わせた介護を心がけ、チームとして同じ対応が出来るように情報共有を行う。</li> <li>2. 新しい技術、情報が得られる様に職員は積極的に研修に行ってもらい、得た情報の共有を行う。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個別対応を心がける事は出来ていた。チーム間での情報共有は出来ていたが、同じ対応としては個々で違う事が散見していた。</li> <li>2. 前年度よりは外部研修を多く参加する事ができた。内部研修は参加人数が少なく伸び悩んでいる。</li> </ol>
医務室 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者の健康管理、体調変化の早期発見に努め的確な判断対応ができるように務める。</li> <li>2. 看取りについては家族の不安や辛い心情に寄り添いこまめに連絡をとり、職員がチームとなり入居者が心穏やかに最期を迎えられるよう務める。</li> <li>3. 書類作成の見直しを行い効率良く対応が出来るようにペーパレス化を図る。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護師と介護職が共に協力し合い目標対応は出来ていた。</li> <li>2. 同上</li> <li>3. 一部見直しは必要ではあるが手順や必要書類を揃える事ができた。全てのペーパレス化は未だ困難な状況である。</li> </ol>
厨房 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 業務の効率化、委託業者との円滑な関係を築き、よりよい食事サービスを目指す。</li> <li>2. 食事を通じて季節を感じ、一人一人に対応した食事を提供することによって、満足度を向上させる。</li> <li>3. 食事の衛生管理、温度管理を徹底し、食中毒予防に努める。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 調理業務の大幅な変更があったが、介護スタッフの協力もあり定着することができた。</li> <li>2. 食品の価格高騰もあり使用できる食品に限りがあった。来年度は入居者が昔からよく食べているメニューをより多く取り入れ、満足度を向上したい。また看護師介護士と協働し、利用者の嚥下能力に応じた食事を提供できた。</li> <li>3. 調理サービスにおいて、ルールを徹底し安全な食事の提供ができていた。</li> </ol>

## 養護老人ホーム富士見園事業報告

### 1. 事業概要

- I. 利用者の皆さんの自立と個人の尊重を重んじ、生きがいを持ち、安心して楽しい生活が出来るように支援します。
- II. 職場の将来展望において、職員全員が共通意識のもと、意識改革と自己研鑽を積み、働く喜びを共に感じられる職場にします。
- III. 一施設としての事業展開にととまらず、広く地域の福祉推進者としての視点を常に持ち行動します。

### 2. 月間利用者数

令和 5年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	2,407	2,483	2,518	2,618	2,696	2,582	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	31,230
2,660	2,584	2,703	2,754	2,565	2,660		
令和 6年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	2,527	2,669	2,490	2,622	2,659	2,603	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	31,444
	2,719	2,654	2,678	2,604	2,483	2,736	

### 3. 在園者の年齢構成

R7.3.31 時点

	60代	70代	80代	90代	100歳以上	平均	最高齢
男	1名	15名	17名	3名	1名	80.9歳	101歳
女	1名	15名	25名	8名	0名	82.4歳	99歳
計	2名	30名	42名	11名	1名	81.7歳	

### 4. 介護保険認定状況

R7.3.31 時点

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
令和 5年	8名	4名	20名	10名	5名	1名	1名	49名
令和 6年	7名	3名	16名	12名	11名	1名	0名	50名

## 5. 入退所者状況

	住宅事情	身体障害	精神障害	病弱	家庭不和	老齢単独	経済的理由	その他	計
令和5年	3名	0名	1名	0名	6名	2名	3名	1名	16名
令和5年度退所者									10名
令和6年	2名	0名	0名	0名	5名	1名	2名	0名	10名
令和6年度退所者									13名

## 6. 職員の状況

R7.3.31 時点

職名	人数		兼務の状況	資格
	常勤	非常勤		
施設長	1		○	介護福祉士・介護支援専門員・社会福祉主事
事務員	2			
業務執行理事		1		社会福祉主事
ケアマネ	1			介護支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士
主任生活相談員	1		○	介護福祉士
生活相談員	1		○	介護福祉士
主任支援員	1		○	介護福祉士
サービス提供責任者	1			介護福祉士
支援員	8	1	○	介護福祉士
支援員	2		○	介護職員実務者研修
支援員	2	2	○	介護職員初任者研修
看護師		1		看護師
看護師	1	1		准看護師
栄養士	1			
調理員	4	4		調理師
用務員		2		
宿直員		3		
合計	26	15		

## 7. 目標に対する自己評価

富士見園 基本目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者と職員が笑顔で生活できる環境を提供し、自立した生活が継続できるよう支援していく。</li> <li>2. 入居者と職員が安心・安全・快適に生活・業務が行えるように施設環境を整備していく。</li> <li>3. 職員全員が感染症に対する知識を高め、施設内に感染症を持ち込まないよう予防対策を徹底していく。</li> </ol>
--------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各行事については感染症対策を実施しつつ、施設単独で行い皆さんに楽しんでもらった。</li> <li>2. 令和5年度に大規模修繕を実施したが、予算の都合で修繕ができていない箇所が多数ありその修繕を少しずつ行った。令和7年度も引き続き行っていく予定。</li> <li>3. 数回感染症が発生したが早急に対応を行った為、大きな感染拡大とはならず最小限で抑えることができた。</li> </ol>
富士見園 全体目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者の細かい変化に気づけるよう様子観察を行い心身のケアと共にコミュニケーションを図っていく。</li> <li>2. 入居者が出来る事を維持でき、「富士見園に来て良かった」と思ってもらえるプランを作成し、援助を行う。</li> <li>3. 入居者と職員が活力に満ちた生活と業務を行うことができ、皆が協力をしあい、より良い環境にしていくよう取り組んでいく。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日常的にコミュニケーションを図り、細かい変化や体調不良に気付くよう努めた。</li> <li>2. 自分で出来る事は継続して出来る様にプランを作成。また生活の質を向上する目的として体操教室やカラオケ等を実施し、「富士見園に来て良かった」と思ってもらえる施設作りに取り組むことができた。</li> <li>3. 動画等を利用した体操やカラオケに楽しんで参加されている方が多く、職員と共に笑顔が絶えない環境作りができた。</li> </ol>
医務 目標	入居者の穏やかな生活が維持できるよう、職員と協力し体調不良及び感染症状の早期発見と対応、転倒リスクの回避に努める。
評価	コロナやインフルエンザに感染された方が数名いたが、都度職員による感染症対策を協議し、感染拡大を全体の1割未満に抑える事ができた。流行している感染症の情報を早期にキャッチし全体に共有することや、入居者への手洗い講習の開催、うがいやマスクの着用等の徹底等により感染予防を実現できた。今後も様々な感染症への対策を継続し早期発見していく。また転倒事故について、4名の方が転倒し骨折してしまった。下肢筋力の増加や履物の見直し等を検討し転倒リスクを回避していく。
厨房 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一人でも多くの皆様に喜んで頂ける食事作りを目指す。</li> <li>2. 衛生知識を深め安全な食の提供に努める。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 嗜好調査、検食簿の意見を加味し調整を行った。</li> <li>2. 衛生業務を流れとして行うのではなく、菌やウイルスがどこで付着するのか。その為にはどのように防ぐ必要があるのかを常に調理師全員が考えて業務をおこなえるようにしていく。</li> </ol>

## 特別養護老人ホームひかわ事業報告

### 1. 事業概要

入居者、一人ひとりに合った援助を心がけ、ひかわでよかったと、入居者とその家族に思ってもらえるよう努力します。また施設の全体行事として、あおぞら市・納涼大会・敬老会を行なっています。

### 2. 月間利用者数 (特養、短期合計)

令和5年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	3,204	3,272	3,170	3,259	3,344	3,288	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	40,318
3,527	3,402	3,529	3,475	3,246	3,422		
令和6年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	3,431	3,483	3,393	3,452	3,514	3,344	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	40,910
	3,479	3,423	3,449	3,448	3,141	3,353	

### 3. 入居者の年齢構成

R7.3.31 時点

	60代以下	70代	80代	90代	100歳以上	平均	最高齢
男	0名	3名	7名	14名	1名	89.2歳	100歳
女	1名	7名	31名	48名	4名	91.1歳	100歳
計	1名	8名	38名	62名	5名	90.7歳	

### 4. 入居者の介護度別人数

R7.3.31 時点

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
令和5年	13名	20名	44名	19名	14名	3.00
令和6年	12名	21名	43名	28名	15名	3.19

### 5. 介護度別入退所者状況 (入所時点の介護度)

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和5年	入所	4名	3名	16名	7名	1名	31名
	退所	0名	2名	10名	6名	3名	21名
令和6年	入所	1名	3名	4名	11名	3名	22名
	退所	2名	4名	7名	7名	8名	28名
令和6年度 看取り 10名 (前年度 6名)					退所者平均年齢 89.8歳		

## 6. 職員の状況 (特養・短期合計)

R7.3.31 時点

職名	人数		兼務の状況	資格
	常勤	非常勤		
施設長	1		○	介護福祉士、社会福祉主事
事務長	1			社会福祉士、衛生管理者
事務員	1	1		簿記検定1級
相談員・ケアマネ	2		○	介護支援専門員、介護福祉士
相談員・ケアマネ	1		○	介護支援専門員、社会福祉士
ユニットリーダー	9			介護福祉士、介護支援専門員(1名)
ユニットリーダー	3			介護福祉士、ユニットリーダー研修
介護職	25	7		介護福祉士、介護支援専門員(1名)
介護職	2			介護職員実務者研修
介護職	5	18		介護職員初任者研修
介護職	3	8		
看護師	2			看護師
看護師	4	1		准看護師
栄養士	1	1		管理栄養士
介助員		3	○	宿直兼務(2名)
宿直員		2		
合計	60	41		【介護+看護職員：入居者】 1.88：1

## 7. 目標に対する自己評価

特養 目標	職員が各々の接遇方法を見直し、ひかわの入居者がひかわを選んでよかったと思ってもらえるケアを考え実践する。
評価	令和6年度は、自分たちの接遇方法の見直しの意味も含めてユニットリビングへ防犯カメラを設置した。カメラ設置の効果もあったのか、残念なことではあるが令和6年度中に職員の不適切な介護行為や入居者に対する虐待案件が露呈し、それぞれで対応を要した一年であった。施設内は、まだまだ問題も多く落ち着くまでには対応すべき点が多く残されていると感じる。次年度の目標も令和6年度を引き継ぎ同内容とする。 令和7年度は各階の担当相談員の交代により、新しい目でユニットを見る事で気づきを多くして諸々の問題解決に努めていきたい。
医務室 目標	1. 穏やかな生活支援看護 ① 日々の変化に基づく迅速な対応 ② 個人個人に寄り添う看護 2. 看護の質の向上 ① 申し送りの徹底 ② 他職種との連携
評価	1. ① 変化時迅速に対応出来ていたと思う ② 達成感なく内容修正し次年度に持ち越す 2. ① 連絡ノートを活用しこのまま次年度につなげる ② 次年度も継続していく

<p>厨房 目標 (食事サービス)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 調理法を工夫し入居者に食べやすい食事を提供する。</li> <li>2. 食中毒防止の為、厨房内の清掃の徹底と従業員の衛生教育及び健康管理に努める。</li> <li>3. イベント・郷土料理に関する感想を取り入れ、皆さんが喜んでいただけるようなメニューに変更する。</li> <li>4. 食事形態、盛り付けの分量、キザミ食の大きさ等において、入居者それぞれに適正な形で提供されるよう検品体制を整える。</li> </ol>
<p>評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 硬い、食べにくいといった指摘があったが、調理法の見直しや指導により早期に改善することができたと感じている。今後も食べる方の声に真摯に向き合い、一口でも多く食べていただけるような食事作りを行っていく。</li> <li>2. 大きな事故なく 1 年を終わらせることができた。引き続き清掃の徹底と健康管理に努める。</li> <li>3. 今年度は開設記念として数年ぶりにマグロ解体ショーを実施し入居者から多くの喜びの声があった。郷土料理では新メニューを組み込むことができなかつたため次年度は検討したい。</li> <li>4. 適正な形態、分量、大きさの提供ができるようになった。</li> </ol>
<p>厨房 目標 (栄養管理)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「あたり前の生活」の実現に向け、食を楽しめるよう家庭的な栄養サービスを目指す。入居者個人の食の意向や嗜好をつかみ、個々の身体状況、摂食嚥下機能、栄養状態に合わせた栄養ケア計画の作成と食事の提供を行う。</li> <li>2. 他職種と連携し、日常的に情報交換・共有に努める。食事量減退時や看取開始時には入居者の意思や家族の想いに寄り添ったケアを実現する。</li> <li>3. ユニットケアの特性を生かした食事レクの企画と協力を行う。</li> <li>4. 災害時等の非常事態に備え、食事の提供が止まらないよう食料備蓄や対応方法を検討し整理する。施設内で情報を共有し災害時にどの職員でも安全な食事が提供できる体制づくりを目指す。</li> <li>5. 安全で安心できる食事を基本とし、安全衛生管理の徹底、食中毒や感染症および誤食による事故を起こさない。</li> </ol>
<p>評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 食事時だけでなく、入居者とこまめにコミュニケーションをとり、信頼関係を築けるように努めた。多職種と協力し、個々の状態や嗜好に配慮した食支援に取り組むことができた。</li> <li>2. 食事の時間が苦痛な時間となっている方もいた。栄養補助剤等の使用は効率的な栄養補給法ではあるが、最良な方法であるかは個々によって違うため、多職種連携で今後も取り組んでいく。</li> <li>3. ユニット調理レクの頻度は減ったものの、ユニット主体となって出前やおやつレク等実施した。栄養課として計画内容の確認や厨房への協力依頼は行っているが、レクへの参加はなかなか時間が取れない状況である。</li> <li>4. 非常用の備蓄食が切れないように準備はしているが、施設内周知は出来て</li> </ol>

	<p>いない。今後も体制整備に努めていく。</p> <p>5. 食事による大きな事故はなかった。今後も問題があれば早期に対応し、事故に繋がらないように指導していく。</p>
A-1 ユニット 目標	<p>1. 入居者の情報を共有し、個別のできることを理解しながらそれぞれの楽しみを増やせるよう、レクリエーションの発案や日常生活に取り組む。</p> <p>2. 入居者に対する言葉遣いや、声のトーンにも注意し雰囲気の良いユニットを目指し入居者と家族に安心感を提供する。</p>
評価	<p>1. 情報共有は良くできていた。個々の対応もそれぞれ無理のない程度に実行できていた。レクリエーションにおいては食事レク中心で、それ以外がなかなか実行できなかったが、少ない中でも季節に合わせたレクリエーションを楽しんでいただけたと思う。</p> <p>2. 言葉遣いや声のトーンに関しては乱れることがあり、指摘を受けることもあった。意識をしてその頻度は減ってきているため、次年度も継続して目標に掲げていくこととする。</p>
A-2 ユニット 目標	<p>1. 引き続き言葉遣いには注意していくとともに、入居者が職員に親しみやすく、安心できるような雰囲気を職員がもてるよう心掛けていく。</p> <p>2. ADL に合った作業やレクリエーションを通し日々の生活の充実を図る。</p>
評価	<p>1. 言葉遣いは気を付けることができたが、耳の遠い入居者に対して声が大きくなったり、声が聞こえる近距離で声掛けをする等の配慮が欠けていた。</p> <p>2. 全体的に ADL が低下している中で、レクリエーションや作業が偏ってしまっていたものの、少しずつでも活動はできていた。</p>
A-3 ユニット 目標	<p>1. 体調の変化に直ぐに気付けるよう日々観察を怠らない。</p> <p>2. 入居者と家族に丁寧にわかりやすく優しい声掛けや言葉選びを心がける。</p>
評価	<p>1. 細かいところまで観察でき、皮下出血や外傷も少なかった。</p> <p>2. 同じ質問の繰り返しに対して、毎回同じように回答することができなかった。耳の遠い方や理解が乏しい方に対して単語のみの回答になってしまうことが多かった。</p>
A-4 ユニット 目標	<p>1. 常に入居者に対し正しい言葉遣い・態度・表情で対応することを意識していく。自身で振り返る機会をもち、都度改善するよう努める。</p> <p>2. 入居者の目線に立ち、今何をすべきなのかを考え対応する。また要望や思いに対応しより一層ひかわで楽しく充実した生活を送っていただくよう努める。</p> <p>3. 入居者の変化に気付き、ユニット間はもちろん他部署ともに連携や話し合いを深めより良いユニット作りを目指していく。また、入居者、職員共に過ごしやすい環境づくりに努める。</p>

評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 正しい言葉遣い、態度、表情で入居者に対応するという意識は持っていたと思うが、忙しくなってしまうと対応が疎かになってしまうことがあった。自分ができなかったことを振り返る時間も作れたため、次年度はさらに意識して対応していきたい。</li> <li>2. 概ねできていたと感じる。コミュニケーションが不足していた部分もあるため、次年度はもっと改善していきたい。</li> <li>3. 他部署との連携は概ね取れていたと思うが、もう少し話し合いの場があるとより一層良いと思った。また大きな声を出してしまうことで入居者が不快に感じることもあったため、今後は気を付けていきたいと思う。</li> </ol>
B-1 ユニット 目標	<p>入居者が生活の中で何を望んでいるのか、何が入居者にとっていいのかを各職員が考え、見直さなければならぬ接遇を情報共有しながらケアにあたる。</p>
評価	<p>入居者が望んでいる事、また一歩先を見据えたケアが出来ている事はあったが、業務に追われてしまう時は態度にでてしまい、全て気持ちを汲み取れたかと言えばそうではなく反省点もあった。</p> <p>その人に合ったコミュニケーションを取ったり、ごく普通の生活が送れるようにコミュニケーションを心掛けたりする事は出来ていた。</p>
B-2 ユニット 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各職員が相手の現状を考え知識を増やし、入居者の安心の元となれるように支援をしていく。</li> <li>2. 業務を精査し協力体制を強化することで入居者の望みに対応できる環境を作る。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. どんな声掛けをすると安心感を持って頂けるかを考え、言葉遣いに配慮した支援はある程度できていた。ただ業務に追われると仕事優先になってしまい相手の気持ちを疎かにしてしまった。</li> <li>2. 業務を精査し入居者への時間はある程度取れていたが、一人勤務になると気持ちに余裕がなく行き届かない事もあった為、ペアユニットにも更なる協力が必要だと感じた。</li> </ol>
B-3 ユニット 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 接遇に気を付けながら穏やかで心地よい生活支援に取り組んでいく。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを多く取り「楽しい」と感じる時間、機会を増やしていく。</li> </ul> </li> <li>2. 職員間の情報共有を小まめに行い、ユニットケアを実践していく。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の好みや要望の分析を行い、24Hシートを有効活用していく</li> <li>・「報連相」（ほうれんそう）を基に、進捗状況や変更等をユニットリーダーが確認作業し質の向上に繋げていく。</li> </ul> </li> <li>3. 自分自身が住みたいと思える清潔感ある環境作りと日々の整理整頓に取り組む。</li> <li>4. 月1回以上の行事計画に取り組んでいく。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・壁紙制作・調理・食事行事の計画をしていく。</li> <li>・身近な余暇活動（歌会、塗り絵、身体を動かす活動）に取り組む。</li> </ul> </li> </ol>

評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者がどう感じたのかを考えた時に声掛け、スキンシップ、コミュニケーションの仕方の難しさを感じた。一つ一つの支援に対して誰にでも説明が出来る介護支援への引継ぎを行なえた。これからも返答や表情（目を見る）を感じ取り、接遇を意識し、安全、安心、笑顔が引き出せる生活支援に取り組む。</li> <li>2. 24Hシートの修正、変更点を更新した。具体的な活用まではいかないが、入居者の日々の変化に気づき統一した対応、早い対応を実践し良い方向に取り組むことができた。</li> <li>3. ユニット内の目に見える整理整頓を心掛けた。日々汚れている所を確認し掃除を行い、併せて原因も確認する事で清潔保持に繋がった。</li> <li>4. 身近な余暇活動は日々取り組む事が出来た。今後は活動の種類を増やし、いつでも誰でも取り組めるように準備をしていく。調理レク 8 回（47%）、壁紙作成 5 回（29%）、季節行事 5 回（24%：マック、買い物、花火、クリスマス）を実施したが、次年度は季節行事を増やし満足度を高める。</li> </ol>
B-4 ユニット 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員一人一人が入居者に対しての接遇を意識して、入居者の立場に立ち思いやりのある介助と声掛けを行う。</li> <li>2. 行事レクを増やし入居者が楽しみを持ち生活できるように支援をする。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. どのような状況下でも日々接遇を意識し冷静さを保ちながら入居者と接する事ができている場面が多かったと思う。ユニットにカメラが設置された事で接遇に対する意識強化につながった事も実感している。</li> <li>2. 行事については、月一回を目安に食事レクを中心に取り組むことができた。ただレクリエーション以外の余暇時間でも、もっと入居者の笑顔を引き出す事が出来たのではないかと考えている。</li> </ol>
C-1 ユニット 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員一人一人が接遇を見直し介護を行う。</li> <li>2. 定期的なユニット会議を行うことで情報共有を行う。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一人勤務の際は接遇面で少し配慮に欠けていたと感じる。</li> <li>2. 定期的なユニット会議が行えなかった。</li> </ol>
C-2 ユニット 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. レクリエーションを通じて四季を感じていただく。</li> <li>2. 入居者が生活しやすい清潔感あるユニットにする。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎月の調理レクを行い喜んでいただけたと思う。ユニット内でも四季を感じていただけるように月ごとに装飾を施した。</li> <li>2. 毎日清掃し入居者の生活しやすい環境整備を心掛けた。</li> </ol>
C-3 ユニット 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者への処遇をみんなで気を付けユニットケアにあたる。</li> <li>2. 季節感のあるユニット作りをし、変化のあるレクリエーションを提供する</li> <li>3. 24H シートを活用し、各利用者にあったケアを実践する。</li> </ol>

評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員間の話し合いや申し送りをしっかり行い、看護師との連携にてより踏み込んだ個別ケアが行えたと思う。食事や ADL の変化に対応しケアの内容を変更することができた。</li> <li>2. 今年度もコロナ・インフル等感染症が収まらず思うように外出できない中、設目にユニットの飾りを変更しなるべくみんなの目に留まるよう配慮を行い季節感のあるユニット環境を作れたと思う。レクリエーションに関しては単調なおやつレクに偏ったものになりがちだった。</li> <li>3. カンファレンス実施後、24 時間シートの更新を忘れずに行い個別ケアに取り組んだ。しかしシートを活用できたかというところではなく、申し送りや看護師との連携によって変更し実施した点が多かった。 その他として、ユニット内にカメラ導入もあり接遇に配慮を行ったが時間が経つにつれて慣れてきてゆるみも感じられた。ユニット会議等にて接遇について話し合い職員間で意見を高めたいと感じた。</li> </ol>
C-4 ユニット 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 接遇の仕方を改め、入居者が穏やかに生活できるようにケアを行う。</li> <li>2. レクリエーションの早期計画を立て実践していく。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 接遇は声掛け等の方法に気を付けて行いおおむね出来たが、こちらの指示が入りにくいときに少し声が大きくなってしまった。</li> <li>2. レクリエーションは積極的に計画出来ていなかった。また少し違うレクリエーションを考えることも必要だと感じた。</li> </ol>

# 通所介護事業報告書

## 1. 事業概要

特養併設型の通所介護事業所として、要介護・要支援者を対象に通常型のデイサービスで日帰り介護をし、在宅での生活が維持できるよう支援しています。また、総合事業「交流型」通所サービス「運動型」通所サービスを行い介護予防事業の一端を行っています。

## 2. 月間利用者数

令和5年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	385	381	329	368	366	361	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4,538
	396	395	399	357	375	426	
令和6年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	471	482	467	513	475	445	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	5,562
	495	456	457	353	445	503	

## 3. 介護度別利用者数

R7.3.31 時点

	事業対象	要支援 1・2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
令和5年	6名	12名	16名	12名	7名	5名	4名	62名
令和6年	2名	16名	19名	12名	6名	2名	3名	60名

## 4. 活動内容

- 利用者のお誕生日にお花と写真のプレゼント
- 新年会、節分、ひな祭り、お花見、夏祭り、クリスマス会などの季節行事
- 敬老の日前後に、「感謝祭」を開催
- さつま芋・野菜・花等の園芸活動 小規模にて開催
- 各種舞踊やマジック、朗読会などのボランティアをお招き 中止

## 5. 職員の状況

R7.3.31 時点

職名	人数		兼務の 状況	資格
	常勤	非常勤		
(管理者) 相談員	1		○	介護支援専門員、社会福祉士
相談員	1			介護支援専門員、介護福祉士
介護職	1	4		介護福祉士
		1		初任者研修
看護師	1	1		看護師
看護師		1		准看護師
運転手		2		普通自
合計	4	9		

## 6. 目標に対する自己評価

通所 目標①	利用者、家族が安心して利用しやすい環境を整備し在宅生活ができるだけ継続できるように支援する。
評価	アンケート結果も概ね満足されている方が多く、利用者と家族がデイサービス三恵苑を利用しやすい環境を提供できたと実感している。
通所 目標②	平均利用者数 20 名の実現に向けて営業活動を積極的に行う。
評価	前年度よりも利用者数を増やすことはできたが、令和 7 年 1 月に発生したコロナ陽性者の影響もあり、実績としては 17.9 名で目標である平均 20 名には届かなかった。今後も営業活動を続け平均 20 名以上を目指す。

## 在宅介護支援センター事業報告

### 1. 事業概要

在宅で生活しているお年寄りが、日常生活を営むために必要な保健医療サービス又は福祉サービスの適切な利用をすることが出来るよう計画を作成すると共に、市からの事業受託にて独居高齢者等の実態把握や介護サービス啓発のための事業などを行っています。

### 2. ケアプラン件数 ※要介護＋要支援（総合事業利用者含む）

令和 5年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計
	278	281	286	278	279	284	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3,334
	282	277	274	275	271	269	
令和 6年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計
	275	272	277	281	280	277	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3,398
	279	275	270	277	270	272	

### 3. 介護度別利用者数

R7.3.31 時点

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
令和 5年	27 名	35 名	79 名	71 名	28 名	22 名	7 名	269 名
令和 6年	29 名	37 名	91 名	61 名	38 名	22 名	6 名	284 名

### 4. 職員の状況

R7.3.31 時点

職名	人数		兼務の 状況	資格
	常勤	非常勤		
(管理者) センター長	1		○	主任介護支援専門員
介護支援専門員	4	1		主任介護支援専門員
合計	5	1		

## 5. 活動内容

○ 県立大学 IP 演習参画	1 チーム
○ ケアマネジャー合格者実務研修実習生受け入れ	1 名
○ 出張無料相談会（西楽園、湯けむり横丁）	7 回
○ 高齢者サロン（自治会勉強会）でのお手伝い	12 回
○ 指扇地区社協学習推進部会出席	8 回
○ 指扇地区社協高齢者部会出席	11 回
○ 指扇地区社協理事会出席	2 回
○ 一人暮らし高齢者世帯見守り訪問	随時
○ 民生委員・ケアマネ交流会	2 回
○ ふれあい会食で相談窓口の設置（指扇及び内野地区社協）	10 回
○ 西区包括在支連絡調整会議	7 回
○ 劇団にしく参加（打ち合わせ）	8 回
○ 指扇地区社協地域福祉推進委員会	1 回
○ 西区民生児童委員協議会高齢者福祉部会勉強会講師	1 回
○ 指扇中学校福祉体験会	2 回
○ スマートフォン教室	2 回

## 6. 目標に対する自己評価

支援センター 目標①	新任職員補充を決着し、常時新規ケアプラン受付ができる。
評価	新任職員が特養より異動してきたが、数ヶ月で特養に戻る事となった。OJT について見直しを図り今後の新任職員へ活用する。
支援センター 目標②	次期（第 10 期）報酬改定で正常に事業継続できるよう、業務 ICT 化を前進させる。
評価	さいたま市西区内他事業所で使用しているケアマネ用 ICT ソフトを検討した。実際の勤務形態と連動するなど更に深掘りして検討する必要がある。

## 地域包括支援センター事業報告

### 1. 事業概要（実績）

	地域活動	ネットワーク構築	認知症サポーター養成講座、その他
R6年 4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指扇地区社協会食会</li> <li>・イキイキ西大宮 （ラヴィーレ西大宮）</li> <li>・森と風のサロン （内野本郷自治会館）</li> </ul>		
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指扇地区社協会食会</li> <li>・内野地区社協会食会</li> <li>・びわの会 （指扇台団地自治会館）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援会議</li> <li>・指扇地区社協総会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オレンジカフェ （みんなの家清河寺2）</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指扇地区社協会食会</li> <li>・三橋6丁目いきいき体操クラブ</li> <li>・地域福祉学習会 （中釘自治会館）</li> <li>・ひまわり体操サークル （内野公民館）</li> <li>・にこにこサロン （下郷自治会館）</li> <li>・森と風のサロン （内野本郷自治会館）</li> <li>・やよい会 （中釘自治会館）</li> <li>・内野本郷共栄自治会 （内野本郷共栄自治会館）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・シニアのためのスマホ教室 （在支共催）</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指扇地区社協会食会</li> <li>・高砂会 （宮前二丁目自治会館）</li> <li>・サロンえびすや （穂積コミュニティセンター）</li> <li>・下宝来いきいきサロン （下宝来自治会館）</li> <li>・健康体操サロン （下宝来自治会館）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オレンジパートナー交流会</li> </ul>	
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかば会 （内野公民館）</li> <li>・秋葉老人会 （秋葉自治会館）</li> <li>・高砂会 （宮前二丁目自治会館）</li> </ul>		
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーベルいきいきサロン （オーベル集会場）</li> <li>・指扇地区社協会食会</li> <li>・あじさいの会 （指扇公民館）</li> <li>・きらめきサロン （内野本郷自治会館）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内野地区地域福祉推進委員会作業部会</li> <li>・指扇地区民生委員ケアマネ交流会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区グラウンドゴルフ大会</li> <li>・オレンジカフェ （みんなの家清河寺2）</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すみれ体操サークル （内野公民館）</li> <li>・SBKサークル （別所自治会館）</li> <li>・下宝来いきいきサロン （下宝来自治会館）</li> <li>・指扇地区社協会食会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オレンジパートナー交流会</li> <li>・内野地区地域福祉推進委員会</li> <li>・地域支援会議</li> </ul>	

	地域活動	ネットワーク構築	認知症サポーター養成講座、その他
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>高砂会 (宮前二丁目自治会館)</li> <li>きらめきサロン (内野本郷自治会館)</li> <li>ハイマートふれあいサロン (ハイマート集会場)</li> <li>宮前一丁目のびのびサロン (宮前一丁目自治会館)</li> <li>指扇地区社協会食会</li> <li>ライオンズマンション ふれあいサロン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内野地区民協</li> <li>オレンジパートナー 交流会</li> <li>指扇地区地域福祉 推進委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指扇親子認知症 サポーター養成講座</li> <li>佐知川上自治会認知症 サポーター養成講座</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>指扇地区社協会食会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内野地区地域福祉推進 委員会作業部会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきサポーター過年度 フォローアップ研修</li> <li>認知症サポーター養成講座 (大宮南高校)</li> </ul>
R7年 1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>にここサロン (下郷自治会館)</li> <li>内野地区社協会食会</li> <li>高木木ノ下自治会婦人部 (高木木ノ下自治会館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主グループ交流会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オレンジカフェ指扇</li> <li>オレンジカフェ (みんなの家清河寺2)</li> <li>いきいきサポーター 今年度フォローアップ研修</li> <li>認知症サポーター養成講座 (西区役所職員)</li> <li>認知症サポーター養成講座 (土屋中学校)</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>サロンおあしす (五味貝戸自治会館)</li> <li>オーベルいきいきサロン (オーベル集会場)</li> <li>グランドマスト西大宮</li> <li>森と風のサロン (内野本郷自治会館)</li> <li>指扇地区社協会食会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内野地区地域福祉推進 委員会作業部会</li> <li>指扇地区社協サロン 交流会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シニアのためのスマホ教室 (在支共催)</li> <li>認知症サポーター養成講座 (指扇地区社協)</li> </ul>
3月		<ul style="list-style-type: none"> <li>指扇地区民協</li> <li>地域支援会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オレンジカフェ指扇</li> <li>オレンジカフェ西おおみや 翔裕館</li> <li>認知症サポーター養成講座 (指扇中学校)</li> </ul>

## 2. 月間利用者数

令和 5年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	527	518	518	517	524	542	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	6,345
	552	540	534	533	518	522	
令和 6年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	531	539	539	546	542	558	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	6,628
	561	553	555	561	567	576	

### 3. 職員の状況

R7.3.31 時点

職名	人数		兼務の状況	資格
	常勤	非常勤		
(管理者) 社会福祉士	1		○	社会福祉士
社会福祉士	2			社会福祉士 介護支援専門員
介護支援専門員	3			主任介護支援専門員 介護福祉士
保健師・看護師	3	1		看護師 介護支援専門員
生活支援 コーディネーター		1		
事務員	1		○	
合計	10	2		

### 4. 目標に対する自己評価

包括 目標①	困難事例についてはミーティング等を活用して対応を協議し対応する
評価	対応困難な事例については週1回のミーティング時に情報共有、意見交換しケースに対応した。緊急な対応が必要なケースは都度その場にいる職員で話し合いし対応した。対応困難なケースは増加傾向にあるため今後も同様に継続していく。
包括 目標②	オレンジカフェの開催場所を増やす
評価	オレンジカフェを開催するにあたり新規の場所を確保することができ、年度末に1回開催することができた。今回は開催の際に支援いただけるオレンジパートナーを集い、事前に打ち合わせを重ね開催となった。開催方法や内容もオレンジパートナーの方々と協議し決めていくことができた。今後も継続して毎月開催していく予定となった。